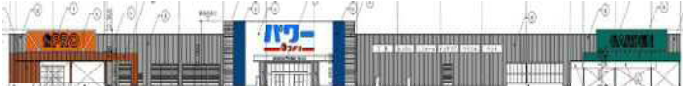


CASBEE新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	コメリPW黒埼店 新築工事	
建設地	新潟県新潟市西区山田字中道上の東1番1 外94筆	
用途地域	準工業地域	
建物用途	物販店,	
竣工年	2025年2月 竣工	
敷地面積	30,295.11 m ²	
建築面積	9,554.58 m ²	
延床面積	9,479.91 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2024年4月10日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{29.2}{41.6} = 0.7$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 2.7		バリアフリー計画 維持管理 設備の更新性	Q2.1.1.3 Q2.1.3 Q2.3.3	3.0 2.0 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.0		耐震・免震・制震・制振 信頼性	Q2.2.1 Q2.2.4	3.0 1.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.7		建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用	LR1.1 LR1.2	4.3 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.0		節水 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.1.1 LR2.2.4 LR2.2.6	1.0 1.0 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上	Q3.1 Q3.3.2	1.0 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 1.5		まちなみ・景観への配慮 地域性への配慮、快適性の向上	Q3.2 Q3.3.1	1.0 2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

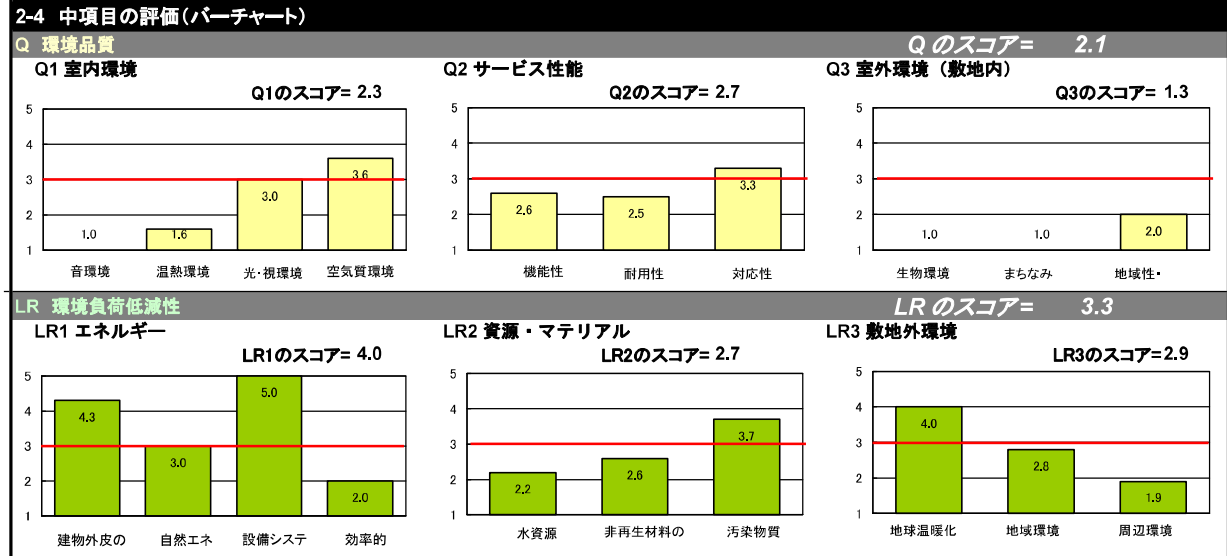
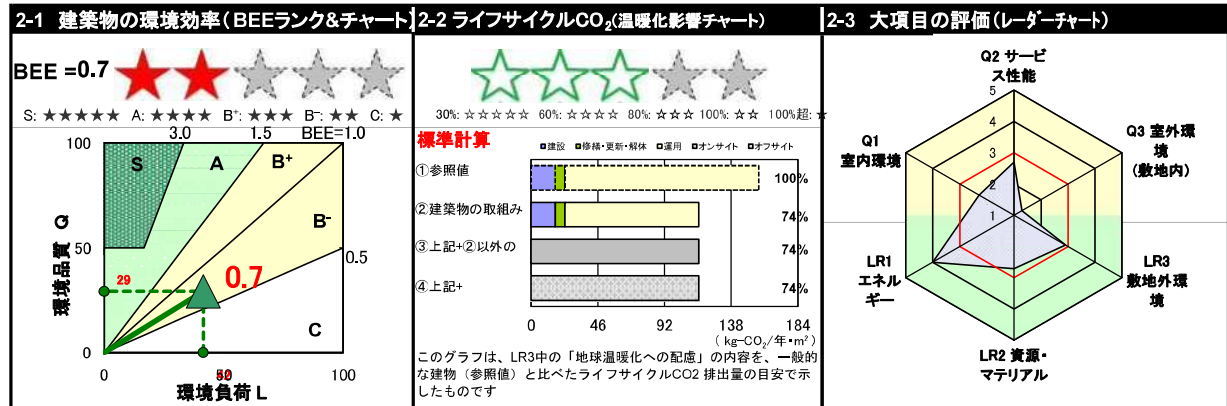
外皮の熱対策と高効率機器による省エネに配慮した。また、部材の再利用可能性に配慮した。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コメリPW黒埼店 新築工事	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市西区山田字中道上の東1番1 外94号	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0 人
地域区分	5地域	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 竣工	評価の実施日	2024年4月10日
敷地面積	30,295 m ²	作成者	佐藤 雅彦
建築面積	9,555 m ²	確認日	
延床面積	9,480 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 使用者が気落ちよく商品を見れるように広さ感及び、化学汚染物質への配慮と、省エネルギー化に配慮した。		その他 —
Q1 室内環境 規制(告示)対象外品のみを使用して、化学汚染物質へ配慮した。	Q2 サービス性能 売場の天井高を高くして広さ感を演出。また、壁長さ比率を抑えて形状の自由さの確保に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 外皮の熱対策と高効率機器による省エネに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用可能性に配慮した。また、断熱材等において、温暖化及びオゾン層への配慮を行った。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ の排出率を抑え、地球温暖化に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される